

共生

奈良県生協連

2012年10月

NO.86

万葉のいぶきを求めて—(51)



生 駒 山

ゆう 夕されば ひぐらしきな鳴く 生駒山 越えてぞあ吾が来る 妹が目を欲ほり
はたの 秦 間ははしまるまろ満

「日暮れになると、ひぐらしが鳴く生駒山をいとしい妻に逢いたさに私は越えて行きます」天平8（736）年夏、新羅国との国交正常化のために使節が派遣されました。遣新羅使人の秦間満は、難波出航までにもう少し時間がある。出航までにもう一度妻に逢いたい。との思いを募らせ、夕暮れ迫る頃、ひぐらしが、カナカナとかん高い声を響かせる中を吹き出す汗を拭いながら妻のいる大和へと生駒山をかけ登って行きました。

生駒山は大和と難波の間に立ちほだかる自然の関所のような山で古代から幾つもの道が開かれたようですが、万葉の時代は「生駒越え」と「竜田越え」の二つだったようです。今日の生駒山は、山上にはテレビ塔が林立し遊園地としても賑わいを見せ、昭和4年に作られた飛行塔は現在も健在です。近年は市街地でもひぐらしの音が聞かれ、夕立前のうす暗くなった時など突然カナカナと泣き声を響かせ夏の風情を引き立てます。



国際協同組合年企画

奈良セミナー2012 @奈良女子大学

(奈良県生協連 支援事業)

奈良地区の大学生協の学生委員会が主催して、7月22日(日)10:00~17:00奈良女子大学の教室でセミナーを開催しました。3大学より8名の実行委員がおよそ1か月強の準備期間を経て作り上げました。当日は、奈良教育大生協、奈良県立大生協、奈良女子大生協、大阪樟蔭女子大生協の学生委員・スタッフを含め86名が参加しました。奈良県生協連としても、「生協を学ぶ」学生委員会の企画を支援しました。



開催の目的

- ①奈良地区の学生委員同士でつながりをつくり、地域の場に魅力を感じることに
- ②大学生協の仕組みや活動内容、また、学生委員会の存在意義や可能性を知ること
- ③先輩や仲間から刺激を受け、活動のきっかけやヒントを得ることでモチベーションを向上させること

12班に分かれて討議



タイムテーブル(420分) 12班

- 10:00 【全体】初めの時間
- 10:05 **アイスブレイキング**・大学の紹介の時間(班ごと)
みんなと仲良く。他大学を知って刺激を受けつな
りを深める
- 11:05 **学習の時間** ~生協について知る・再確認する~(班ごと)
(昼食休憩)
- 13:00 **学生委員会を知る時間**(班ごと)
~学生委員会の存在意義を知る、活動の意味を理解
する、活動の先にある可能性をイメージする~
- 14:40 **分人会**(1回生・2回生別) ~学生委員会の力を知る~
同じ境遇の先輩から話を聞き執行する世代として理想
を持つ
役割や可能性に気づき主体的に活動する意欲を持つ
- 15:25 **回生別の時間** 悩みや現状の共有や意見を出し合
い、これからのヒントを得る
- 16:10 **大学別の時間** 個人の学びを共有し今後の目標を持つ
- 16:45 【全体】終わりの時間

参加した学生委員の声

- ★専務さんや先輩たちの想いも知れて、自分も大学生協についてもっと考えていきたいと思いました。
- ★これに参加しなければ聞けない話がぎ
けて、色々考えることができました。
- ★学生委員会ってすごく貴重な経験がた
くさんできるということを知りました。そして
モチベーションもすごく上がりました。今
まで以上にこれから頑張りたいです。
- ★とにかく、みんなすごい!みんなキラキ
ラしてた、すごい!
- ★学生委員会のカッコよさを改めて知
った!テストよりいい勉強になった!
- ★みなさんの企画のすごさにびっくりしま
した!!自分もこうなりたいと思えた1日
でした!

毎年のように入れ替わる大学生協の学生委員が、日頃悩みながら活動を続けています。そのような中で、今回の奈良セミナーが企画されました。学生らしい若い発想で組み立てられた企画に、会場は大変盛り上がりしていました。

もくじ

奈良セミナー.....	1	食の安全.....	7
国際協同組合デーのつどい.....	2	おじゃましました.....	8
生協の診療所オープン.....	3	新しい奈良の消費者ネットワーク.....	9
ピースアクション学習会.....	4	環境のページ.....	10
福島子ども保養プロジェクト.....	5		

第20回国際協同組合デーのつどい

7月20日(金) ならまちセンター市民ホール (奈良市)

奈良県内の5つの協同組合連合会で構成する奈良県協同組合連絡協議会は、7月の国際協同組合デーにちなみ毎年つどいを開催していますが、第20回目の今年も国際協同組合年も記念して盛大に開催しました。ならまちセンター市民ホールには162名の参加がありました。奈良県協同組合連絡協議会委員長・JA中央会会長の永田正利氏の主催者挨拶があり、来賓として、奈良県農林部林業振興課課長 馬場 純治様、くらし創造部消費・生活安全課課長 森藤勝彦様、農林部農業経済課課長 石橋佳昭様にご臨席いただきました。



奈良県森林組合連合会の山本 陽一会長から、「吉野共生プロジェクト」や映画の紹介があり、ならコープ 森宏之理事長から「吉野共生プロジェクト」の活動報告がありました。JA、森林組合、生活協同組合の3つの協同組合が連携して取り組んできたこの「吉野共生プロジェクト」は全国的にも貴重な活動です。「自然や地域と協同組合が共生する社会（新しい協同組合間提携）」をめざし、「協同組合がよりよい社会を築く」の取り組みの具体化としてその意義を改めて確認しました。

その後、映画「人生ここにあり」が上映されました。1983年のイタリアを舞台とし、精神病院を閉鎖され、社会に出された元患者たちの協同組合の実話をもとにした作品です。「障がい者の雇用や社会参加と地域づくり」「資本中心から人間中心の社会を目指す協同組合の役割」などたくさんの感動と希望を感じる作品でした。

最後に奈良県生協連会長の瀧川潔より、閉会の挨拶があり終了しました。

国際協同組合年記念行事 第23回奈良県生協大会のお知らせ

奈良県南部に広がる吉野の森は私たちの命と暮らしをはぐくむ源です。国際的な映画監督河瀬直美さんと十津川村 更谷村長が、その自然と人々の営み、そして人のきずなを語ります

河瀬直美さんと 十津川村長が語る 『ともにつくる うつくしき大和』

～復興・地域活性化・生協の役割～

11月10日(土) 13:00~16:30

なら100年会館 中ホール ☎0742-34-0100 JR奈良駅西口下車すぐ

■プログラム

- ◆河瀬直美さんが奈良を撮り下ろした作品
NipponArchives「美しき日本」より奈良県 上映
- ◆河瀬直美さんの講演
「ともにつくるうつくしき大和」(仮題)
- ◆十津川村更谷村長と河瀬直美さんの対談 など

定員400名 先着順
入場無料

■申し込み・お問い合わせ
奈良県生活協同組合連合会
TEL : 0742-34-3535
FAX : 0742-34-0043

主催：奈良県生活協同組合連合会 後援：奈良県 奈良市 十津川村
協力：近畿労働金庫奈良地区統括本部 共栄火災海上保険株式会社関西支店奈良支社

いよいよ生協の診療所がオープンしました

みんなの期待がいっぱい!
8月1日開所

奈良県医療福祉生協 みみなし診療所開所式

7月29日(日)11時~13時 ならコープのコープみみなし2階集会室にて、奈良県医療福祉生協の開所式が行われました。奈良県医療福祉生協は、医療福祉生協連と共に奈良県生協連・県下の9つの生協が設立を支援してきました。

開所式には、奈良県医療政策部 武末部長(当時)はじめ、医療機関、取引先、発起人、支援団体・生協、診療所開設委員、奈良県医療福祉生協役員など約100人が出席しました。



挨拶をするみみなし診療所 金所長



奈良県医療政策部長(当時) 武末文男様



橿原市医師会会長 下里直行様



日本医療福祉生協連会長 高橋泰行様



奈良新聞社代表取締役 甘利治夫様

ご来賓ご挨拶



寸劇 診療所開設物語



「胃カメラ・大腸カメラのはなし」金所長による学習会開催

金先生は消化器内科がご専門で、とてもウィットに富んでいて大らかで優しい先生です。患者の話をじっくり聞いてくださるので相談もしやすくとても安心します。ちなみに私も診療所の通院患者のひとりです。できるだけ多くの人に検診を勧めたいと思っていらして、先生の発案で「胃カメラ・大腸カメラのはなし」~胃カメラ・大腸カメラって痛くないの?怖くないの?~と題して学習会を開きました。第一回はスタッフやサポーターを対象に、そして8月28日は地域の方に呼びかけて29名の方が参加されました。男性も参加されていて関心の高さがうかがわれました。以前受けた時は苦しかったとか痛くないのか、また今飲んでる薬はどうするのかなど質問が多数出るなか、先生は丁寧に答えてくださり検診受診の予約の方もおられました。これからもこのように学習会を続けていこうと先生と診療所スタッフも計画をしています。診療所が地域と結びつき診療だけではなく健康づくりを進めていくのは医療生協ならではの取り組みではないでしょうか。また地域活動では診療所応援隊を発足しました。周辺地域の組合員で結成され自分たちの地域に診療所ニュースの配布や声の収集をします。スタッフや組合員が自主的に応援しながら、自分たちの健康も自分たちで考えていこうと動きだしました。健康体操や健康チェックなどいろいろな活動を通して診療だけではなく組合員の集える診療所でありたいと思います。



私たちの健康を金先生の笑顔と信頼で守りながら地域で共に生きていきたいと思ひます。ぜひ多くの方にみみなし診療所での検診をおすすめしたいと思ひます。(奈良県医療福祉生協理事 湊初恵)

2012年度 ピースアクション学習会



「核兵器廃絶に向けて平和市長会議と市民の役割」

講師：(公益財団法人) 広島平和文化センター常務理事 湯浅敏郎氏

2012年度ピースアクションをすすめる会では、核兵器廃絶を継続的なテーマにして活動をすすめています。7月23日、広島平和文化センターの湯浅敏郎常務理事を講師に学習会を開催しました。会場には会員生協の役職員や平和をテーマに活動をされている人たち29人が参加し学習しました。

講演の中で湯浅氏は、世界の核兵器の状況と、核保有国の核抑止への依存や「強国」アメリカの影響などにより核軍縮のスピードが上がらず、国連では1997年にコスタリカによる核兵器禁止条約の提案が出されているが、核保有国を交えた条約の実現は困難な状況が続いていると述べられました。しかし2010年5月の核不拡散条約 NPT 再検討会議の最終文書には核兵器禁止条約の交渉について盛り込まれるなど一定の進展が期待されています。2015年 NPT 再検討会議にむけた第1回準備委員会が今年ウィーンで開催され、核兵器の非人道性を前面に出した共同声明が16か国により出されました。

湯浅氏は NPT の成果を踏まえた核兵器廃絶実現への行動には、都市と市民の力を結集した平和市長会議の役割は大きいとして、加盟を広げ署名に取り組む大切さと賛同を訴えられました。広島市長が会長となり広島平和文化センターが事務局を務める国連 NGO 平和市長会議は、核兵器廃絶のための緊急行動「2020ビジョン」を掲げており、被爆者の平均年齢が78歳を超えている中で一人でも多くの被爆者が存命のうちに非人道的兵器の極みである核兵器を2020年までになくすことを目標にしています。被爆体験朗読会や原爆ポスター展の開催への協力など、市民と手を携えた取り組みを今後もすすめていくことを示され、今後の奈良県での活動に大きなヒントをいただく学習会となりました。



奈良県の地図を使って加盟市町村を説明するピースアクションのメンバー



学習会アンケートより

- ・被爆者の年齢を聞いてあせりを禁じえませんか。このままみんなあまり知らないまま風化していくんじゃないか、それでいいわけはないと改めて思いました。
- ・なかなか、核軍縮が進まない状況が改めて明確になった。
- ・自分たちの一票(署名)が国際社会を動かしていくということを伝えていきたいと思えます。

これからのピースアクションの予定

★ 10月 市町村訪問

2012年9月現在で奈良県内では39自治体のうち29自治体が平和市長会議に加盟しています。県内で未加盟の自治体を訪問し平和市長会議への加盟をよびかけます

★ 3月 ピースアクション2012in ならの開催

広島平和文化センタースティーブン・リーパー理事長による講演会を開催します

のびのびとあそび、元気いっぱい、 奈良を満喫!

福島の子ども
保養プロジェクト
in かんざい

「福島子ども保養プロジェクト」は福島県生協連、福島大学災害復興研究所、福島県ユニセフ協会が、親子のストレスや体と心の負担を減らせるよう支援することを目的に、週末や長期の休み期間中に、福島の子どもたちに自然の中で遊びと過ごしてもらおうと2011年12月から実施されています。

今回の「福島子ども保養プロジェクト in かんざい」は、コープしが、ならコープ、奈良県生協連、大阪府生協連が福島県生協連と連携して、企画・実施。49名の子どもたちに、夏休みの数日を滋賀・奈良・大阪で過ごしてもらいました。

奈良では

近畿労働金庫、奈良県被災者の会、社会福祉法人協同福祉会、奈良県立野外活動センター、小山煙火、東大寺、ボランティア朱雀などの多くの団体やボランティアの方々にご協力をいただき、子どもたちを迎えました。

8月1日は、野外活動センターでは、夕食のカレーや福島浪江焼きそばをおなか一杯食べ、キャンプファイヤーを楽しみました。また、今回特別に用意していただいた打ち上げ花火とレーザーショーにも歓声が上がっていました。

ワイワイ
ガヤガヤ



野外活動センターでの入所式の様子
ようこそ 奈良へ



スタッフと一緒に楽しく
みんなで食事



感動的な花火とレーザーショー
に、子どもたちもスタッフも大
喜び



8月2日は、フィールドアスレチックで久しぶりに体を動かし、大和郡山名物の金魚すくい大会も楽しんでもらいました。流しそうめんの昼食後、東大寺大仏殿で歴史の説明を受け大仏さんを見学、無病息災のご利益があるといわれる柱の穴をくぐりました。奈良公園では、多くの鹿に圧倒されながらも初めて見る鹿と楽しく遊びました。

奈良
めっちゃ楽しい!

そうめん流し
おいしかったよ



何匹もすくえたよ!
(金魚もすくつかれた?)



鹿の多さにびっくり



のびのび、
元気いっぱい



鹿せんべいを
あげたよ



東大寺の歴史を聞いて
ちょっとお勉強



参加された福島の子どものお母さんから、
お礼のお手紙が届きました。

大変お世話になりました。子どもたちを福島から離れたくても、どうする事も出来ず、日々暮らしておりました。家の中の線量も高く頭を痛めております。

夏休み沢山の愛情とありがとうございました。お世話になったことを思い出して、子どもたちを頑張らせたいと思います。本当にありがとうございました。

奈良でのたくさんの思い出を持って、元気よく大阪へ!
プロジェクトのスタッフも、子どもたちの笑顔に元気をもらいました。

食の安全

第18回 奈良県食品安全・安心懇話会



2012年9月6日(木)猿沢荘にて、今年度初めての懇話会が開催されました。委員も一部入れ替わり、15名の委嘱式が行われました。今村知明奈良県立医科大学教授が座長に再任され、生協からはならコープの森宏之理事長が引き続き流通代表の委員となりました。

平成23年度奈良県奈良市食品衛生監視指導結果や奈良県食の安全・安心行動計画(平成23・24年度)について質疑応答が行われました。

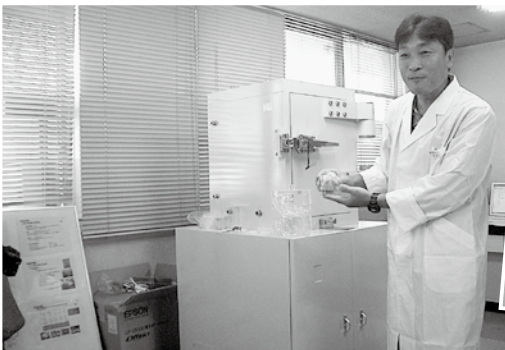
復興支援のためにも、県内産農産物のPR用の広報宣伝物をさらに充実させる必要性の意見が出されました。また、放射性物質検査について検体数を増やすよう要望が出され、25検体の予定を65検体まで増やし23検体を検査した結果、不検出だったことや検査体制についての回答がありました。食品に関する相談窓口やどのような相談があるのか、健康食品への過信に対する懸念や*食品表示の一元化の進捗についても質問があり、回答と意見交換がなされました。

奈良県保健環境研究センター見学会

2012年9月21日(金)10:00~12:00 食品中の放射性物質の検査も行っている奈良県保健環境研究センターの見学会を実施し、奈良県生協連の会員生協役職員13名が参加しました。

センターの大前所長のあいさつの後、奈良県の放射性物質検査の現状の説明があり、2グループに分かれて見学しました。屋上のモニタリングポスト(空間放射線量の γ (ガンマ)線を連続して測定する据え置き型の装置)や大気の粉じんを捕獲する器具、食品中の放射性物質を測定するゲルマニウム半導体検出器、測定する前処理の方法などを聞きました。また、残留農薬検査、河川や地下水の水の検査、ウイルス・細菌検査などについても検査室を見学し、説明を受けました。質問に対して誠実に答えてくださった職員の対応に、参加者は安心感を持ちました。このような意見交換の場が必要であることを実感しました。

ゲルマニウム半導体検出器の説明



熱心に説明を聞く参加者



写真提供:奈良県消費・生活安全課

一口メモ

*食品表示の一元化

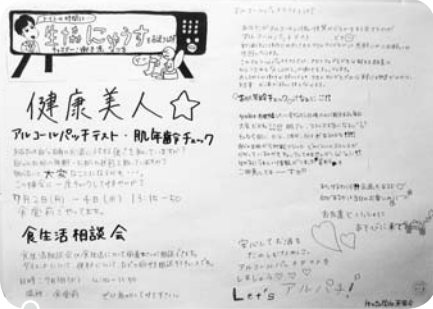
食品表示のルールは現在、日本農林規格(JAS)法、食品衛生法、健康増進法の三つあり、分かりにくさが指摘されています。消費者庁は検討会で2011年9月から一元化のあり方について検討を重ね、今後、新法を提出する方針です。

新しい食品表示の在り方は①食品の安全性確保のための消費者への重要な情報提供②定義の異なる用語の統一・整理③重要な情報が確実に消費者に伝わること④文字を大きくするなど見やすい表示にすることとし、新法の施行後5年以内に全加工食品、事業者を対象に栄養表示義務化を目指しつつ、環境整備の状況を踏まえ決定することとなりました。加工食品の原料原産地表示や遺伝子組み換え表示については、今後の検討課題となり見送られました。

大阪樟蔭女子大学生協におじゃましました

「食」から健康美人！

大学生協では「食生活相談会」を生協活動の中に位置づけ、学生委員が楽しく企画し相談会を行っています。そこで7月3日（火）大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス（奈良県香芝市）での食生活相談会に行ってきました！

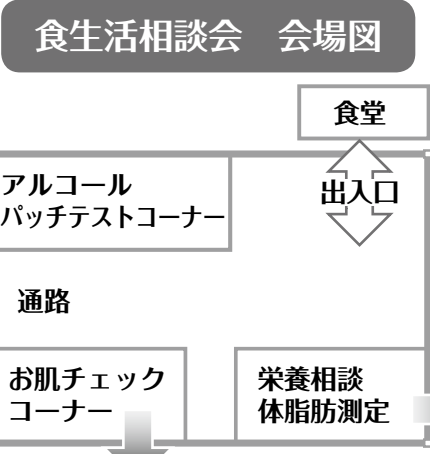


呼びかけポスター。トイレのカベにも！



アルコール付パッチを肌に7分間張付け、赤さの程度でアルコールに対する強さを知るテスト。自分の体質を知ることが大切。飲酒についてよく知ろう！と呼びかけました。

関屋キャンパスは近鉄大阪線・関屋駅前の緑豊かな丘の上にあります。急坂を上るとキャンパスが見えてきました。会場は生協食堂の入り口。樟蔭では食生活相談会を「健康美人」と呼んでいて、例年この時期（年に1回）に開催しています。事前にポスターなどで呼びかけました。



「食生活相談会やってま〜す」



「あなたの食生活をチェックしてみましょう！」栄養士さんからアドバイスを受けました。あなたの判定は？

「あなたのお肌年齢は？」気になりますね。器具で乾燥度合をチェック



健康なお肌のためには「規則正しい生活リズム、休養と睡眠、栄養バランス、ストレスの解消、禁煙、適度な運動、乾燥させないこと」が秘訣だそうです。豆乳もおすすめです。



お肌チェックしませんか？

管理栄養士のみなさんからのアドバイス

今の大学生は下宿で自炊をしている人も自宅生も、全体が野菜不足。自宅生でもしっかり食生活を管理され体調良好な方はめずらしい。自宅生は自分では作らず家の人がいなければ食べなかったり、カップめんだけで済ます人も。惣菜以外はスーパーのどこに何を売っているのか知らない人もいる。魚介類や乳製品のたんぱく質が取れていない。野菜不足、運動不足。体脂肪率が高い人も多い。サプリメントではなく食事から栄養を取るようアドバイスした。チェックシートに書くことで自覚できる。将来お母さんになる人たちへの食育の意識向上は大変重要ですね。

この取り組みは、教師や保育士などの社会人や母親になる前の学生を送り出す女子大学生協ならではの大きな役割を担っていると感じました。教育実習のための体力づくりのためにも、お金の節約からカップめんだけを食べるのではなく、生協食堂での野菜たっぷりメニューやカウンターでのおすすめがあればいいと提案されました。小阪キャンパスの健康栄養学科とも連携を取っていききたいとの意見も出されていました。

あたらしい奈良の消費者ネットワーク

発足へ準備が進んでいます

準備会議の状況

5月にスタートしたネットワーク準備会議も9月19日で4回目。この日は賛同者を広げていくための設立趣旨書の内容を検討し、そのあと、ネットワークで取り組む課題や活動を参加者みんなで出しました。「消費者教育」「高齢者への働きかけ」「行政との協働」など、よりよい奈良の消費生活のために団体や行政が連携することで担える役割は何かを考えました。

2月9日には設立総会を予定しており、今後、発足に向け多くの方々にネットワーク参加の呼びかけを強めていくことにしています。



ワークショップスタイルで話しあいました

3回目の行政調査を実施

アンケート項目

- 相談窓口状況
- 消費者行政予算
- 活性化期間(H21～24)における基金の使途
- 相談員の待遇等
- 職員、相談員の研修
- 消費者団体との連携
- 消費生活関係の条例や要綱等の制定状況
- 相談窓口の広報
- 啓発事業の有無・内容
- 活性化計画で実現したこと
- 今後の消費者行政の充実強化に関する考えや取組予定

地方消費者行政の充実強化の必要性がうたわれて3年が経過しました。活性化のための財源となった交付金も今年度で終了することによる心配の声もある中、一定の前進のあった自治体の取り組みが今後も継続できるようにとの問題意識で、それぞれの成果と課題を聞く内容でアンケートに取り組みます。

準備会議の母体であり世話人団体でもある「奈良の消費者行政を考える会」ではこれまでに2回この問題に関して市町村の状況調査を実施しました。今回は改めて、ネットワークに結集する参加団体として各自治体の状況や意識を知って今後の活動にも生かしていくことにしています。9月にアンケート用紙を送付し、10月には可能な自治体を訪問して懇談の場を持ち、年内に調査報告をまとめ、設立総会で報告する予定にしています。

設立総会と記念シンポジウムの開催日程が決まりました

2013年2月9日（土）奈良商工会議所5階大ホール 13：00～

●前半＝ネットワーク設立総会 ●後半＝記念シンポジウム

奈良の取り組みを紹介しました

「消費者ニュース発行会議」が主催する『第5回消費者問題リレー報告会 in 大阪』が7月28日大阪弁護士会館で開催されました。消費者委員会委員も含めた消費者問題にかかわる弁護士などの専門家や市民の活動報告が39件あり、最新の情報について交流することができました。奈良県生協連からは、ネットワーク設立の取り組み状況を報告しました。



消費者問題リレー報告会 in 大阪で奈良の取り組み紹介

エネルギー・環境に関する選択肢に関する政府との意見交換会

6月に「エネルギー・環境会議」は「エネルギー・環境に関する選択肢（案）」を発表し、2030年までの日本の原発とエネルギー対策のあり方が、3つシナリオで示されました。国家戦略室の「民間団体による意見聴取会」の募集に*「温暖化防止ネットワーク関西」が応募し、「政府との意見交換会」を奈良県生協連も他団体とともに共催しました。当日会場はほぼ満席となり活発に会場と意見交換が行われました。

■日時：8月6日（月）13：30～16：10

■場所：大阪府社会福祉会館

■内容 ①政府側からの「選択肢（案）」に関する説明
環境省低炭素社会推進室室長補佐
（国家戦略室参事官補佐併任）大川正人氏
②6団体からの意見表明（10分×6団体）
③参加者との質疑・意見交換（60分）



意見交換会の会場の様子

*2009年12月に気候変動枠組条約第15回締約国会議に派遣団を送ったネットワーク組織。近畿圏の生協連やNPOなどが参加。奈良県生協連も参加

6団体とも「ゼロシナリオ」を選択。選べる選択肢がなく敢えてゼロシナリオを選択すること、2030年における省エネ効果の踏み込みが浅いこと、産業構造や人口変化を考慮せず2030年の社会のありかたが見えてこないこと、シナリオゼロだけコストを過大に評価していること、再生可能エネルギー普及は将来への投資であること、原発のリスクを全く入れていないこと、温暖化対策が不十分であることなどの指摘がありました。若者代表は、2030年に生きていく人たちに意見を聞いてほしいと要望。意見を出さない限り政策は変わらないとの呼びかけがありました。

ならコープ物流センター太陽光発電設備見学会



2012年8月20日（月）14：00～16：00奈良県生協連が支援している「なら自然エネルギー研究会」主催で、自然エネルギーに関心のある行政やNPOの方を対象に400kWの太陽光発電設備の見学会を開催しました。行政やNPOなど22名が参加し、監視システムなどの見学をしました。

2012年は、国際協同組合年であり、「すべての人のための持続可能エネルギーの国際年」でもあります。再生可能エネルギーへの期待が高まっています。奈良県生協連では講演会を開催する予定です。

講演会「市民・地域主導による再生可能エネルギー普及」

～安全で持続可能な社会に向けて～

- ◆日時 2012年11月27日（火）午前10時～12時
- ◆場所 奈良県文化会館A B集会室（100名）
- ◆講師 和田 武氏（日本環境学会会長）

講師 プロフィール

日本環境学会会長。自然エネルギー市民の会会長。元立命館大学教授、工学博士。専門は環境保全論、資源エネルギー論。現在、経済産業省 調達価格等算定委員をされています。奈良では2004年に「あすなら苑おてんとさん市民共同発電所」づくりの際に、講演会講師として関わられました。



県連日誌

7月

- 9日 近畿地区生協府県連協議会
- 17～18日 日本生協連県連活動推進会議
- 20日 2012 国際協同組合年奈良県協同組合デーのつどい
- 22日 奈良セミナー
- 30日 ピースアクションをすすめる会
- 31日 奈良の消費者ネットワーク準備会議
- 31日 奈良県労済生協総代会

8月

- 6日 「エネルギー・環境問題に関する選択肢」についての政府との意見交換会
- 20日 自然エネルギー研究会「ならコープ物流センター太陽光発電見学会
- 24日 奈良災害支援ネット
- 28日 奈良県防災統括室との懇談
- 28日 地方消費者グループフォーラム実行委員会
- 31日 近畿地区生協・行政合同会議

9月

- 4日 ピースアクションをすすめる会
- 5日 福島子ども保養PJ in かんさい実行委員会
- 6日 奈良県生協連第3回理事会
- 6日 奈良県生協連会員生協理事長交流会
- 7日 新しい公共の場づくりモデル事業会議体会議
- 14日 関西消費者団体懇談会学習会
- 19日 第4回奈良の消費者ネットワーク準備会議
- 21日 県保健環境研究センター見学
- 24日 奈良県防災プラットフォーム連絡会

奈良県生協連第3回理事会報告 9月6日 猿沢荘

【主な審議事項】

- (1) 2012 年度上期活動のまとめと下期の課題に関する件
- (2) 2012 国際協同組合年記念『河瀬直美さんと村長が語る ともにつくる うつくしき大和』～復興・地域活性化・生協の役割～ 第23回奈良県生協大会)に関する件
- (3) 監事の補充選任にともなう第23期臨時総会に関する件
- (4) その他事項の件
 - ①奈良県への要望書、②医療福祉生協の状況と今後の支援、③組合員理事交流会の開催
 - ④自然エネルギー学習会の開催、⑤奈良の消費者ネットワークの設立支援
 - ⑥『災害復旧・復興・防災プロジェクト』への協力」について

公 示 奈良県生活協同組合連合会 第23期臨時総会開催について

2012年9月20日 奈良県生活協同組合連合会 会長 瀧川 潔

当会 定款第47条にもとづき、奈良県生活協同組合連合会第23期臨時総会を下記の通り、開催いたします。

記

1. 日 時 2012年10月18日(木) 16:00～16:30
2. 会 場 市民生活協同組合ならコープ 本部3F「大会議室」
3. 議 案 第1号議案 役員(監事1名)補充選任の件

編集後記

消費者庁長官に初めて消費者団体の出身者が就任しました。2000年ころから吹き荒れた食品偽装表示の嵐、その後の悪質商法の被害拡大を思うと、私たち消費者は一步ずつですが力をつけてきたと実感します。今すすめられていくネットワークの発足により奈良県でも消費者問題の解決力がさらに進んでいくことに期待がふくらみます。(由)

朝晩はしのぎやすくなりました。バス停から降りるとアオマツムシの声が降り注ぎます。今年も秋が来ました。こんな当たり前のことに改めて感謝しています。(順)

2日間でしたが、子どもたちの弾けるような笑顔に元気をもらいました。一日も早く被災地の子どもたちみなさんの不安が解消され「真に心からの明るい笑顔」が戻ることを願っています。(和)

お詫びと訂正

共生7月号(N.O.85)4ページの前川雅世さんのお名前の漢字が間違っておりました。誠に申し訳ございませんでした。